

環境経済・政策学会

2016年大会

大会プログラム



2016年9月10日（土）－11日（日）

青山学院大学 青山キャンパス

# 環境経済・政策学会 2016 年大会スケジュール

9 月 10 日

## 全体スケジュール

時間	内容・会場
9:30~11:00	午前（1）[会場 A~H]
11:00~13:00	ポスター報告 [17 号館 5 階 特別会場]
12:00~13:00	昼食 [17 号館 1 階 食堂] 理事会 [17606]
13:00~14:00	総会 [17510]
14:15~15:45	午後（1）[会場 A~H]
16:00~18:00	シンポジウム [17510]
18:30~20:30	懇親会 [IVY HALL B2F サフラン]

## 分科会スケジュール

会場	午前（1） 9:30~11:00	11:00~13:00	午後（1） 14:15~15:45
A	気候変動（1）	ポスター報告 [特別会場 17 号館 5 階 ラウンジ 2]	農業・食料
B	環境評価		実験・行動経済学
C	非再生可能エネルギー		都市・交通
D	環境の制度分析		企業と環境
E	中国（1）		中国（2）
F	自然資源管理（1）		自然資源管理（2）
G	環境政策 実証（1）		環境政策 実証（2）
H	企画「2050 年 80%削減に向けたグリーン税制改革に関する研究」		自由論題

9月11日

## 全体スケジュール

時間	内容・会場
9:15～11:15	午前（1）[会場 A～I]
11:30～12:15	昼食 [各自ご準備下さい] 理事会 [17606]
12:15～13:15	会長講演・学会賞授与式 [17510]
13:15～15:15	午後（1）[会場 A～I]
15:30～17:30	午後（2）[会場 A～I]

## 分科会スケジュール

会場	午前（1） 9:15～11:15	午後（1） 13:15～ 15:15	午後（2） 15:30～17:30
A	気候変動（2）	気候変動（3）	気候変動（4）
B	持続可能性指標	環境政策 理論	生物多様性
C	貿易と環境	廃棄物・リサイクル政策（1）	廃棄物・リサイクル政策（2）
D	アジア・途上国	再生可能エネルギー（1）	再生可能エネルギー（2）
E	環境と技術	企画「分散型エネルギーシステムの担い手としての「シュタットベルケ」	環境と経済成長
F	企画「生態系サービス評価指標の開発と地域の生物多様性・生態系ガバナンス」	企画「ナチュラール・フィールド実験を用いた環境政策研究ーランダム化比較試験からのエビデンスー」	企画「フューチャーアース：問題解決のためのステークホルダー参加型協働研究（トランスディシプリナリティ）の国際プラットフォームと日本の役割」
G	企画「アンケート調査でどんな研究ができるか，調査票をどう作成するか」	企画「日本の遺伝資源利用の経済的評価～名古屋議定書の効果的実施の議論に向けて」	企画「水資源・環境問題をめぐるインタラクティブ・ガバナンス」
H	企画「都市環境イノベーションと社会的受容性」	企画「大震災における有害性災害廃棄物対策の検証」	企画「環境・エネルギー政策と技術開発ー歴史的アプローチの重要性」
I		企画「地球温暖化ーパリ協定を踏まえた日本の温暖化対策」	企画「原子力の事後処理・被害補償をめぐる制度と費用負担」

# 環境経済・政策学会 2016 年大会

9 月 10 日午前(1)

## 気候変動(1) A(17501)

座長: 亀山康子(国立環境研究所)

1 Baseline of the Projection under a Structural Change in Energy Demand

○坂本智幸(科学技術振興機構)・高瀬香絵(科学技術振興機構)・松橋隆治(東京大学)・馬奈木俊介(九州大学)

討論者: 中川真太郎(下関市立大学)

2 What factors energy saving behaviour in Indonesia? Results of a logit regression study in Bogor

○中野綾子(地球環境戦略研究機関)・Eric Zusman(地球環境戦略研究機関)・Sudarmanto Budi Nugroho(地球環境戦略研究機関)・高橋健太郎(地球環境戦略研究機関)・R.L. Kaswanto(ボゴール農科大学)・Nurhayati Arifin(ボゴール農科大学)・Aris Munandar(ボゴール農科大学)・Hadi Susilo Arifin(ボゴール農科大学)・Hadi Susilo Arifin(ボゴール農科大学)・Muchamad Muchtar(Wahana Usaha Universal, PT)・五味馨(国立環境研究所)・藤田壮(国立環境研究所)

討論者: 黒沢厚志(エネルギー総合工学研究所)

3 気候変動緩和策の進捗を計測するための指標開発に向けた一考察

○亀山康子(国立環境研究所)・高村ゆかり(名古屋大学)・田村堅太郎(地球環境戦略研究機関)・栗山昭久(地球環境戦略研究機関)・有村俊秀(早稲田大学)・小俣幸子(明海大学)

討論者: 丸川裕之(日本プロジェクト産業協議会)

## 環境評価 B(17509)

座長: 栗山浩一(京都大学)

1 仮想市場における電力会社の選択による低炭素電源に対する消費者選好の調査

○板岡健之(九州大学)・齋藤文(みずほ情報総研株式会社)・赤井誠(九州大学)

討論者: 小松悟(長崎大学)

2 フェアトレード・コーヒーの選択実験に関するパイロットスタディ: 学生サンプルを用いた一般化多項ロジットアプローチ

○大床太郎(獨協大学)・工藤恵美加(獨協大学)・石田真夕(獨協大学)

討論者: 柘植隆宏(甲南大学)

3 Measuring economic value of whale conservation: comparison between Australia and Japan

○若松美保子(九州大学)

討論者: 栗山浩一(京都大学)

**非再生可能エネルギー C(17502)**

**座長: 石田葉月(同志社大学)**

1 「福島事故」前後における原子力発電世論変化の比較研究

○河津早央里(立命館大学)

討論者: 稲澤 泉(京都大学)

2 福島原発後の日本のエネルギー政策: エネルギーミックス策定に政策過程分析

○稲澤 泉(京都大学)

討論者: 野田浩二(東京経済大学)

3 原子力発電は「経済」と「環境」の両立を可能にするか?

○石田葉月(同志社大学)

討論者: 和田喜彦(同志社大学)

**環境の制度分析 D(17508)**

**座長: 渡邊理絵(新潟県立大学)**

1 自治体政策における環境政策予算と議会の関連性に関する基礎的分析—富山県の事例—

○青木卓志(金沢星稜大学)

討論者: 太田隆之(静岡大学)

2 東アジア民間非営利環境協力の今日的課題

○相川 泰(公立鳥取環境大学)

討論者: 松岡俊二(早稲田大学)

3 ドイツのエネルギー政策転換における中央政治と地方政治の相互作用—シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州を事例として

○渡邊理絵(新潟県立大学)

討論者: 吉田文和(愛知学院大学)

**中国(1) E(17503)**

**座長: 溝渕健一(松山大学)**

- 1 Evaluating air pollution in Northeast China using life satisfaction approach  
○Guodong Du(九州大学)・Liang Yuan(九州大学)・Kong Joo Shin(九州大学)  
討論者:明日香壽川(東北大学)
- 2 Life Satisfaction and Air Quality in Urban China  
○Liang Yuan(九州大学)・Guodong Du(九州大学)・Kong Joo Shin(九州大学)  
討論者:堀江進也(神戸大学)
- 3 中国南京市の新型ごみ回収モデルー志達プロジェクトにおける住民行動の影響要因についての分析ー  
○余 岸勇(神戸大学)  
討論者:溝渕健一(松山大学)

#### 自然資源管理(1) F(17507)

座長:籠橋一輝(南山大学)

- 1 森林環境税における公共財供給量決定モデルの分析  
○高橋卓也(滋賀県立大学)  
討論者:赤尾健一(早稲田大学)
- 2 遊漁者の資源・環境保全行動の規定要因米国アンケート調査に基づく検証  
○大石太郎(福岡工業大学)・望月政志(京都府農林水産技術センター)・八木信行(東京大学)  
討論者:籠橋一輝(南山大学)
- 3 The Long Run Forest Conservation and the Paper Recycling: Evidence from East Asian Countries  
○山本 雅資(富山大学)  
討論者:大石太郎(福岡工業大学)

#### 環境政策 実証(1) G(17506)

座長:倉阪秀史(千葉大学)

- 1 水俣条約を踏まえた日本の水銀管理政策の効果  
○袖野玲子(慶應義塾大学)・高岡昌輝(京都大学)  
討論者:吉田肇(宇都宮共和大学)
- 2 持続可能なニッケル資源利用に向けたサプライチェーンリスク要因抽出  
○佐々木翔(東北大学)・松八重一代(東北大学)・中島謙一(国立環境研究所)・長坂徹也(東北大学)  
討論者:平沼光(東京財団)

- 3 家庭部門のエネルギー消費動向と省エネルギー対策の方向性に関する一考察 ～地域別のエネルギー消費構造等を例として～

○吉田肇(宇都宮共和大学)

討論者:倉阪秀史(千葉大学)

**企画 2050年80%削減に向けたグリーン税制改革に関する研究 H(17504)**

座長:小嶋公史(地球環境戦略研究機関) 討論者:諸富徹(京都大学)

- 1 炭素税をめぐる理論的課題の検討

○小嶋公史(地球環境戦略研究機関)・脇山尚子(地球環境戦略研究機関)

- 2 炭素税等に関する先進事例における政治的プロセス分析と日本における議論の論点構造の分析

○浅川賢司(地球環境戦略研究機関)・松尾雄介(地球環境戦略研究機関)・昔宣希(地球環境戦略研究機関)・アレクシ ロカモラ(地球環境戦略研究機関)

- 3 日本の温室効果ガス削減約束草案(INDC)を満たすための炭素コストと炭素税改革 — E3ME-Asia 計量経済モデルを用いた分析 —

○李秀澈(名城大学)・Unnada Chewprecha(Cambridge Econometrics)・Hector Pollitt(Cambridge Econometrics)・小嶋公史(地球環境戦略研究機関)

---

9月10日午前(2)

---

**ポスターセッション ポスター会場**

- 1 使用済自動車市場における産業政策に関する考察:日本の1970年代の経験から

○阿部 新(山口大学)

- 2 二酸化炭素排出要因の分析 —日本の経年変化と国際比較—

○定行 慶一(北九州市立大学)

- 3 生態系サービス支払の普及における社会経済的影響:環境保全型農業直接支払交付金の事例から

○夏 吾太(滋賀大学)・田中 勝也(滋賀大学)

- 4 自然災害からの復興の評価—包括的富指標によるアプローチ

○大久保和宣(京都大学)

- 5 地域社会資本評価としての地域交通供給

- 平原隆史(千葉商科大学)
- 6 地域創生における自然資本の活用と展開 ー群馬県上野村の事例を基にー  
○奥谷三穂(京都府立大学)
- 7 固体木質バイオマスエネルギーの需給動向と環境基準の展開の可能性  
○藤原 敬(林業経済研究所)・落合麻里・前川洋平(東京農業大学)
- 8 分散型太陽光発電設備の利用世帯におけるグリッド型電化整備の導入の影響:バングラデシュ農村部を事例として  
○小松 悟(長崎大学)・金子慎治(広島大学)・Partha Pratim Ghosh(Center for Social and Market Research)
- 9 エネルギーリテラシーが選好性に与える影響に関する実証分析  
○中井美和(東京大学)・大久保達也(東京大学)・菊池康紀(東京大学)
- 10 共有再生可能資源における選好の異質性と貿易  
○小川 健(専修大学)
- 11 ウェブサイト「環境展望台」における環境技術解説ページの評価  
○柳橋泰生(国立環境研究所)・佐藤さゆ(国立環境研究所)・田中有紀子(国立環境研究所)・小澤勇治(国立環境研究所)・林大祐(国立環境研究所)
- 12 表明選好法による中国雲南省蒼山シ海の生態補償制度の経済評価  
○安可(長崎大学)・吉田謙太郎(長崎大学)

---

9月10日午後(1)

---

農業・食料 A(17501)

座長:中畠一憲(兵庫県立大学)

- 1 サトウキビ農家の赤土流出対策実施の決定要因の分析  
○岡川 梓(国立環境研究所)・堀江哲也(上智大学)・日引 聡(東北大学)  
討論者:山浦紘一(東京農工大学)
- 2 気候変動が世界の農業生産性に及ぼす影響に関する実証分析  
○中畠一憲(兵庫県立大学)・日引 聡(東北大学)  
討論者:有賀健高(石川県立大学)
- 3 インドネシア・バンカ島のアブラヤシ農園とスズ鉱山開発の社会環境影響  
○和田喜彦(同志社大学)  
討論者:安部竜一郎(立教大学)

## 実験・行動経済学 B(17509)

座長:西條辰義(高知工科大学)

- 1 フィリピンの処分場ウェイト・ピッカーの時間選好パラメータの推計  
○横尾英史(国立環境研究所)・幾瀬真希(日本工営)・堀田昌英(東京大学)  
討論者:竹内憲司(神戸大学)
- 2 Do experiences of resource depletion affect social cooperative preference? – An analysis using the field experimental data of fishers in the Philippines and Indonesia –  
○田中健太(武蔵大学)・東田啓作(関西学院大学)・Arvin Vista(University of the Philippines Los Banos)  
討論者:関絵里香(立命館大学)
- 3 Sustainability of common pool resources  
Raja Timilsina(高知工科大学)・○小谷浩示(高知工科大学)・上條良夫(高知工科大学)  
討論者:西條辰義(高知工科大学)

## 都市・交通 C(17502)

座長:堀江進也(神戸大学)

- 1 公共交通のアクセスおよび車内混雑が主観的満足度に与える影響の分析  
○熊谷惇也(九州大学)・慎公珠(九州大学)・馬奈木俊介(九州大学)  
討論者:川田恵介(広島大学)
- 2 Demand elasticity in automobile industry in Japan  
○八木迪幸(神戸大学)・馬奈木俊介(九州大学)  
討論者:福田大輔(東京工業大学)
- 3 The Changes in the Residents' Landslide Risk Perception by 1995 Kobe Earthquake  
○堀江進也(神戸大学)・笹川真希(神戸大学)  
討論者:中川真太郎(下関市立大学)

## 企業と環境 D(17508)

座長:西谷公孝(神戸大学)

- 1 排出量目標設定が企業の排出行動に与える影響に関する実証分析  
○若林雅代(早稲田大学)・有村俊秀(早稲田大学)  
討論者:中野牧子(名古屋大学)
- 2 カーボンプライシングによる財務的影響に関する定量評価モデルの検討ー日本における 6

業種を対象に一

○川原千明(EY 新日本サステナビリティ株式会社)・松尾雄介(地球環境戦略研究機関)・  
秋山奈々子(地球環境戦略研究機関)・岡利樹(EY 新日本サステナビリティ株式会社)  
討論者:岩田和之(高崎経済大学)

3 サステナビリティ報告へのテキストマイニングの適用に関する検討

○中尾悠利子(公立鳥取環境大学)  
討論者:川原千明(EY 新日本サステナビリティ株式会社)

**中国(2) E(17503)**

**座長:周 瑋生(立命館大学)**

1 中国各地域の排ガスの排出量に関する計量分析

○朱 美華(日本環境衛生センター)・山下 研(日本環境衛生センター)  
討論者:青正澄(横浜市立大学)

2 使用済自動車の発生台数と再生資源ポテンシャルの予測

○栗洋(名古屋大学)  
討論者:白川博章(名古屋大学)

3 中国における「パリ協定」後低炭素社会構築の取組みに関する研究

○李 志東(長岡技術科学大学)  
討論者:周 瑋生(立命館大学)

**自然資源管理(2) F(17507)**

**座長:三俣 学(兵庫県立大学)**

1 日本の長距離自然歩道の創設への海外先進事例の影響

○嶋田大作(福岡女子大学)  
討論者:大野智彦(金沢大学)

2 協働的な価値創出を通じた生物資源の活用と保全—海藻「アカモク」をめぐる社会ネットワークを事例に—

○宮下健太郎(北陸先端科学技術大学院大学)・敷田麻実(北陸先端科学技術大学院大学)  
討論者:三俣学(兵庫県立大学)

3 都市近郊の学校林利用促進に向けた実態把握—兵庫県・神戸市からの考察—

○三俣 学(兵庫県立大学)  
討論者:高橋卓也(滋賀県立大学)

## 環境政策 実証 (2) G(17506)

座長:松川 勇(武蔵大学)

- 1 An Empirical Study of Tokyo Emission Trading Scheme: Expost Analysis of Emissions from Office and University Buildings  
○有村俊秀(早稲田大学)・阿部達也(早稲田大学)  
討論者:松川 勇(武蔵大学)
- 2 Global Trade Network of Low-Carbon Technologies and its Implication to ASEAN Economic Integration  
○Ambiyah Abdullah(Keio University- UNU-IAS)  
討論者:山崎雅人(名古屋大学)
- 3 温室効果ガス排出削減政策による個人の温室効果ガス排出削減行動への影響についてー炭素税と個人排出量取引の比較を通じてー  
○東條純士(京都大学)  
討論者:野村久子(九州大学)

## 自由論題 H(17504)

座長:野田浩二(東京経済大学)

- 1 環境行動と環境意識および環境ラベルの認知度との相関分析  
藤澤美恵子(金沢大学)・○平湯直子(武蔵野大学)  
討論者:吉田綾(国立環境研究所)
- 2 温泉利用における物理的・社会的秩序の乱れ ー 大分県別府市の共同湯調査  
○佐野八重(名古屋経済大学)  
討論者:野田浩二(東京経済大学)
- 3 地方都市居住者の生活意識と2030年の日本のライフスタイル変化に関するフォーカスグループインタビュー  
○吉田綾(国立環境研究所)・青柳みどり(国立環境研究所)  
討論者:平原隆史(千葉商科大学)

---

9月11日午前(1)

---

気候変動(2) A(17501)

座長:黒沢厚志(エネルギー総合工学研究所)

- 1 A possible scenario of limiting climate change to 1.5C-assessment with the E3ME-FTT macroeconomic modelling framework-

○Hector Pollitt (Cambridge Econometrics)・Unnada Chewpreecha (Cambridge Econometrics)・Jean-Francois Mercure (Radboud University)・Pablo Salas (University of Cambridge)・Aileen Lam (University of Cambridge)・Neil R Edwards (Open University)・Phil Holden (Open University)

討論者: 芦名秀一(国立環境研究所)

- 2 The costs of stranded assets in fast decarbonisation scenarios-assessment with the E3ME-FTT macroeconomic modelling framework-

○Jean-Francois Mercure (Radboud University)・Hector Pollitt (Cambridge Econometrics)・Unnada Chewpreecha (Cambridge Econometrics)・Pablo Salas (University of Cambridge)・Aileen Lam (University of Cambridge)・Neil R Edwards (The Open University)・Phil Holden (The Open University)

討論者: 明日香寿川(東北大学)

- 3 日本の都道府県と国における温室効果ガス排出量削減目標の比較分析

○越智雄輝(株式会社 E-konzal)・佐藤柚果(同志社大学)・小川祐貴(株式会社 E-konzal)・田浦健朗(NPO 法人気候ネットワーク)・山本元(NPO 法人気候ネットワーク)

討論者: 山本雅資(富山大学)

- 4 気候工学研究の現状

○黒沢厚志(エネルギー総合工学研究所)・杉山昌広(東京大学)・森山亮(エネルギー総合工学研究所)・石本祐樹(エネルギー総合工学研究所)・加藤悦史(エネルギー総合工学研究所)・増田耕一(海洋研究開発機構)・都筑和泰(エネルギー総合工学研究所)

討論者: 有野洋輔(地球環境産業技術研究機構)

持続可能性指標 B(17509)

座長:倉阪秀史(千葉大学)

- 1 包括的富指標の日本国内での応用

○Yang Jue(富士通総研)

討論者:山口臨太郎(京都大学)

2 水産物に関する持続可能性に対する消費者選好研究

○若松宏樹(中央水産研究所)

討論者:有賀健高(石川県立大学)

3 資源貿易が持続可能性指標に与える影響

サムレト・ソワンルン(埼玉大学)・佐藤真行(神戸大学)・○山口臨太郎(京都大学)

討論者:小嶋公史(地球環境戦略研究機関)

4 地域ストックの持続可能性マネジメントの理論と実践

○倉阪秀史(千葉大学)

討論者:Yang Jue(富士通総研)

**貿易と環境 C(17502)**

座長:松八重一代(東北大学)

1 「貿易と環境」の問題をめぐるルールの変化-TPP と WTO の比較-

○原嶋洋平(拓殖大学)

討論者:藤原敬(持続可能な森林フォーラム)

2 中国からの再生可能エネルギー関連物品の輸出とその要因:重力モデルを用いた分析

○小倉康弘(京都大学)

討論者:佐々木 創(中央大学)

3 アジアにおける環境サービス自由化の経済分析

○佐々木 創(中央大学)

討論者:石戸 光(千葉大学)

4 リソースロジスティクスに基づく資源調達リスクの可視化:リンの事例

○松八重一代(東北大学)・山本高史(東北大学)・中島謙一(国立環境研究所)・南斉規介(国立環境研究所)・長坂徹也(東北大学)

討論者:平沼光(東京財団)

**アジア・途上国 D(17508)**

座長:横尾英史(国立環境研究所)

1 Behavioral Intention Analysis of Waste Separation in China: Case Study of Hangzhou Using Theory of Planned Behavior

YU Shuangying(立命館アジア太平洋大学)・LU Tiezhan(立命館アジア太平洋大学)・○QIAN Xuepeng(立命館アジア太平洋大学)・ZHOU Weisheng(立命館大学)

討論者:横尾英史(国立環境研究所)

2 Demand for Piped Drinking Water and formal Sewer System in Bhutan

○Ngawang Dendup(Waseda University)

討論者:岡川梓(国立環境研究所)

3 タイにおける降水量変化が水稻生産に与える影響について

○白川博章(名古屋大学)・吉田貢士(茨城大学)・乃田啓吾(東京大学)

討論者:増田忠義(近畿大学)

**環境と技術 E(17503)**

**座長:岡寺智大(国立環境研究所)**

1 水素利用システムの産業連関分析

○鷺津明由(早稲田大学)・中野諭(労働政策研究・研修機構)

討論者:田中健太(武蔵大学)

2 中国における火力発電所の窒素酸化物対策:脱硝技術選択に関する計量経済学的分析

○馬騰(神戸大学)

討論者:浜本光紹(獨協大学)

3 Explaining Trade Flows of Renewable Energy Products: The Role of Technological Development

○宮本 舞(神戸大学)・竹内憲司(神戸大学)

討論者:鶴見哲也(南山大学)

4 エネルギー水連関に基づく下水処理の費用便益評価の検討 タイ・バンコクを対象として

○岡寺智大(国立環境研究所)・珠坪一晃(国立環境研究所)・小野寺崇(国立環境研究所)・Wilasinee Yoochatchaval(モンクット王工科大学)

討論者:石田葉月(同志社大学)

**企画 生態系サービス評価指標の開発と地域の生物多様性・生態系ガバナンス F(17507)**

**座長:宮永健太郎(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター) 討論者:大沼あゆみ(慶應義塾大学)、三俣 学(兵庫県立大学)、鎌田磨人(徳島大学)**

1 生態系サービス評価指標の開発と地域の生物多様性・生態系ガバナンス

○宮永健太郎(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)

2 関西広域連合における生態系サービス評価指標の開発

○三橋弘宗(兵庫県立大学自然・環境科学研究所/県立人と自然の博物館)

3 生態系サービスの将来シナリオ評価のためのストック・スローおよびサプライ・デマンド統合

シミュレーションモデルの開発に向けて

○松井孝典(大阪大学)・芳賀智広(大阪大学)・堀 啓子(大阪大学)・町村 尚(大阪大学)

4 都市における生態系サービスとディスサービス:六甲山を事例にした経済評価

○佐藤真行(神戸大学)・青島一平(神戸大学)・金谷 遼(神戸大学)

**企画 アンケート調査でどんな研究ができるか、調査票をどう作成するか G(17506)**

**座長:栗山浩一(京都大学)**

1 本セッションの背景と目的

○栗山浩一(京都大学)

2 アンケート調査の実際

○川島史江(日経リサーチ)

3 アンケート調査の設計とデザイン

○庄子 康(北海道大学)・久保雄広(国立環境研究所)

4 アンケート調査の実施例

○栗山浩一(京都大学)・柘植隆宏(甲南大学)

**企画 都市環境イノベーションと社会的受容性 H(17504)**

**座長:松岡俊二(早稲田大学) 討論者:升本潔(青山学院大学)、島田剛(静岡県立大学)**

1 都市環境イノベーションと社会的受容性:持続可能な都市とは何か?

○松岡俊二(早稲田大学)

2 環境イノベーションの社会的受容性からみた資源循環型都市の形成要因 —静岡県掛川市を事例に—

○松本礼史(日本大学)

3 協働ガバナンス・アプローチによるコウノトリ米とトキ米の普及プロセスの 比較研究

○岩田優子(早稲田大学)

4 長野県飯田市における都市環境イノベーションの形成と普及 —制度イノベーションの視点から—

○竹川章博(上智大学)・渡邊敏康(早稲田大学)

---

9月11日午後(1)

---

**気候変動(3) A(17501)**

**座長: 吉田謙太郎(長崎大学)**

- 1 Optimal Mixture of Adaptation and Mitigation Investments  
○野澤亘(九州大学)・玉置哲也(九州大学)・馬奈木俊介(九州大学)  
討論者: 赤尾健一(早稲田大学)
- 2 地域の自然資本としてのぶどう資源の価値 - 気候変動の適応対策への住民の支援意志-  
○渡邊幹彦(山梨大学)・益田成也(元山梨大学)  
討論者: 白井信雄(法政大学)
- 3 気候変動で失われる日本の珊瑚礁の経済評価  
○今村航平(東北大学)・高野宏平(森林総合研究所)・吉田由美(福井工業大学)・熊谷直喜(国立環境研究所)・山野博哉(国立環境研究所)・藤井賢彦(北海道大学)・中静透(東北大学)・馬奈木俊介(九州大学)  
討論者: 吉田謙太郎(長崎大学)
- 4 An Economic Analysis on Climate Impacts with Adaptation to Climate Change under SSP and RCP Scenarios  
○坂上紳(上智大学)・山浦紘一(東京農工大学)・鷲田豊明(上智大学)  
討論者: 有野洋輔(地球環境産業技術研究機構)

**環境政策 理論 B(17509)**

**座長: 一ノ瀬大輔(立教大学)**

- 1 The Signaling Effect of Emission Taxes under International Duopoly  
○宮岡 暁(関西大学)  
討論者: 東田啓作(関西学院大学)
- 2 戦略的環境政策下での協力的環境技術開発と非協力的環境技術開発の比較  
○飯田健志(福井大学)  
討論者: 宮岡 暁(関西大学)
- 3 Improper use of pollution abatement device and the optimal policy for green technology diffusion  
○一ノ瀬大輔(立教大学)  
討論者: 新熊隆嘉(関西大学)

#### 4 A Collective Responsibility and Judgment-proof Problem

○新熊隆嘉(関西大学)・日引 聡(東北大学)・澤田英司(九州産業大学)  
討論者:一ノ瀬大輔(立教大学)

#### 廃棄物・リサイクル政策(1) C(17502)

座長:阿部 新(山口大学)

##### 1 動的産業連関 MFA を用いた鉄鋼循環に伴う合金元素の散逸量の算定

○武山健太郎(東北大学)・大野 肇(東北大学)・松八重一代(東北大学)・中島謙一(国立環境研究所)・近藤康之(早稲田大学)・中村慎一郎(早稲田大学)・長坂徹也(東北大学)  
討論者:外川健一(熊本大学)

##### 2 自動車の易解体設計の進捗状況について 予備的考察

○外川健一(熊本大学)・木村眞実(熊本学園大学)  
討論者:阿部 新(山口大学)

##### 3 日本とスウェーデンの大学生のごみ分別行動と影響要因の比較:プラスチック容器包装・PET ボトルを例に

○伊藤俊介(東京電機大学)  
討論者:原田禎夫(大阪商業大学)

##### 4 冠島(京都府)における海洋ごみの現状について -漂着ペットボトルの製造国別割合を中心に

○原田禎夫(大阪商業大学)  
討論者:沼田大輔(福島大学)

#### 再生可能エネルギー(1) D(17508)

座長:田崎智宏(国立環境研究所)

日本における固定価格買取制度(FIT)下での再生可能エネルギー導入 状況 の特性と

##### 1 課題に関する研究 —再生可能エネルギー導入の単一化問題と需給のミスマッチ問題を中心に—

○蔣超迪(立命館大学)  
討論者:東 愛子(尚絅学院大学)

##### 2 再生可能エネルギーの拡大を実現する電力市場改革

○東 愛子(尚絅学院大学)  
討論者:服部 徹(電力中央研究所)

##### 3 廃棄物焼却場での発電・熱供給事業のCO2 排出削減効果に関する分析

○芳賀普隆(長崎県立大学)・藤川清史(名古屋大学)

討論者:田崎智宏(国立環境研究所)

**企画 分散型エネルギーシステムの担い手としての「シュタットベルケ」 E(17503)**

座長:諸富 徹(京都大学) 討論者:山下英俊(一橋大学)、山下紀明(環境エネルギー政策研究所)

- 1 欧州エネルギー市場の転換におけるドイツ・シュタットベルケの戦略  
○ラウパッハ=スミヤ・ヨーク(立命館大学)
- 2 ドイツのシュタットベルケは、再公有化を通して何を狙っているのか?  
○中山琢夫(京都大学)
- 3 日本における自治体エネルギー公益事業体の創設とその意義  
ラウパッハ=スミヤ・ヨーク(立命館大学)・中山琢夫(京都大学)・○諸富 徹(京都大学)

**企画 ナチュラル・フィールド実験を用いた環境政策研究—ランダム化比較試験からのエビデンス— F(17507)**

座長:横尾英史(国立環境研究所) 討論者:須賀義徳(環境省)、鈴木 綾(東京大学)

- 1 Voluntary contributions to maintenance for hiking trail: Evidence from a natural field experiment in Japan  
○久保雄広(国立環境研究所)・庄子 康(北海道大学)・柘植隆宏(甲南大学)・栗山浩一(京都大学)
- 2 家庭ごみの不法投棄対策の効果測定 —国内自治体におけるフィールド実験を用いた検証—  
○小林庸平(三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社)
- 3 ホームエネルギーレポートによる消費者の意識・行動の変容と省エネルギー効果:日本初のホームエネルギーレポート大規模実証調査から  
○Ken Haig(オーパワージャパン株式会社)
- 4 Social comparison, probabilistic expectations and pro-environmental behaviors: Evidence from a randomized control trial in Vietnam  
横尾英史(国立環境研究所)・○Nguyen Ngoc Mai(Hanoi Foreign Trade University)

**企画 日本の遺伝資源利用の経済的評価～名古屋議定書の効果的実施の議論に向けて G(17506)**

**座長:大沼あゆみ(慶應義塾大学) 討論者:中山直樹(環境省)**

- 1 遺伝資源利用と PIC 導入の経済効果:理論モデルの検討と応用  
○大沼あゆみ(慶應義塾大学)
- 2 遺伝資源利用に関する情報は保全意識を高めるか  
○柘植隆宏(甲南大学)・田中勝也(滋賀大学)
- 3 名古屋議定書の理念は実現可能か:遺伝資源の利用促進と生物多様性保全  
○藺 巳晴(三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング)
- 4 民間営利企業は遺伝資源利用をどれくらい重視しているか?  
○森 宏一郎(滋賀大学国際センター)

**企画 大震災における有害性災害廃棄物対策の検証 H(17504)**

**座長:小幡範雄(立命館大学) 討論者:宮本憲一(大阪市立大学)、村山武彦(東京工業大学)、若井郁次郎(大阪産業大学)、浅利美鈴(京都大学)**

- 1 有害性災害廃棄物の管理処理動向と被災地環境への影響  
○南 慎二郎(立命館大学)
- 2 震災によるアスベスト飛散・曝露リスクと自治体の対策  
○平岡和久(立命館大学)・南 慎二郎(立命館大学)
- 3 東日本大震災でのがれき仮置き場の取り扱いとその跡地利用  
○小幡範雄(立命館大学)

**企画 地球温暖化一パリ協定を踏まえた日本の温暖化対策 I(17505)**

**座長:山口光恒(地球環境産業技術研究機構)**

- 1 日本の長期排出抑制目標  
○茅 陽一(地球環境産業技術研究機構)
- 2 各国約束草案の排出削減努力の国際比較に関する評価  
○秋元圭吾(地球環境産業技術研究機構)・佐野史典(地球環境産業技術研究機構)
- 3 2030 年に向けての日本のエネルギーミックスと温暖化対策の検討  
○十市 勉(日本エネルギー経済研究所)

---

9月11日午後(2)

---

**気候変動(4) A(17501)**

**座長: 碓井健寛(創価大学)**

- 1 政策ネットワークとメディアの政治作用: 日仏豪における IPCC 報道を事例に  
○朝山慎一郎(国立環境研究所)・Johan Lidberg(Monash University)・Armele Cloteau  
(University of Versailles Saint-Quentin-en-Yvelines)・Jean-Baptiste Comby  
(Pantheon-Assas University)  
討論者: 渡邊理絵(新潟県立大学)
- 2 Household preparedness for natural disasters: Evidence from Japan 災害に備える—日本の  
家庭防災備蓄の実施状況に関する実証分析  
○尾沼広基(九州大学)・慎公珠(九州大学)・馬奈木俊介(九州大学)  
討論者: 碓井健寛(創価大学)
- 3 中国における気候変動政策が鉄鋼専門に与える影響について  
○盧 向春(東北大学)・毛 昕平(Deloitte, China)・明日香 壽川(東北大学)  
討論者: 坂上紳(上智大学)
- 4 気候変動交渉における科学と政策のインタラクション  
○小坂真理(慶応義塾大学)  
討論者: 朝山慎一郎(国立環境研究所)

**生物多様性 B(17509)**

**座長: 蒲谷 景(地球環境戦略研究機関)**

- 1 生物多様性保全と気候変動対策に関する国際制度間の連携  
○盛中祐貴(名古屋大学)  
討論者: 蒲谷 景(地球環境戦略研究機関)
- 2 Cities and biodiversity: spatial efficiency of land use  
○吉田惇(東北大学)・河野達仁(東北大学)  
討論者: 赤尾健一(早稲田大学)
- 3 生態系サービスへの支払いの効果的なデザインとは? 土地利用モデルと空間シミュレーションを用いた政策シナリオ分析  
○蒲谷 景(地球環境戦略研究機関)  
討論者: 吉田謙太郎(長崎大学)

4 半人工的自然としての里海の経済価値について - レントに着目したアプローチ -

○高尾克樹(立命館大学)

討論者:佐藤真行(神戸大学)

**廃棄物・リサイクル政策(2) C(17502)**

**座長:山本雅資(富山大学)**

1 空間計量経済モデルによる産業廃棄物最終処分場の地理的集積と変化に関する実証研究

○石村雄一(大正大学)・竹内憲司(神戸大学)

討論者:笹尾俊明(岩手大学)

2 東日本大震災における災害廃棄物処理事業の効率性

○笹尾俊明(岩手大学)

討論者:一ノ瀬大輔(立教大学)

3 一般廃棄物処理事業の活動別コスト構造分析

○田崎智宏(国立環境研究所)・松本茂(青山学院大学)・ロザリア チファリ(バルセロナ自治大学)・サミュエル ロ ピアノ(バルセロナ自治大学)

討論者:山本雅資(富山大学)

4 生ごみ分別モデル事業対象者と非対象者の分別意思決定プロセスに関する比較研究

○野村久子(九州大学)・安永早奈恵(九州大学)・高橋義文(九州大学)・矢部光保(九州大学)

討論者:横尾英史(国立環境研究所)

**再生可能エネルギー(2) D(17508)**

**座長:松川 勇(武蔵大学)**

1 What have restricted wind power installations in Japan?

○杜 依濛(神戸大学)

討論者:小川祐貴(京都大学)

2 再生可能エネルギーが地域にもたらす経済付加価値 -長野県を対象としたケーススタディ-

○小川祐貴(京都大学)・ラウパッハースミヤ ヨーク(立命館大学)・光井智恵(トリア応用科学大学)

討論者:石川良文(南山大学)

3 シナリオ産業連関分析による中国の再生可能エネルギー導入の環境効果と経済効果の分析

○王 嘉陽(名古屋大学)

討論者:林 宰司(滋賀県立大学)

#### 4 メガソーラー開発に伴うトラブル事例への長野県の政策的対応と環境政策統合

○山下紀明(環境エネルギー政策研究所)

討論者:堀江進也(神戸大学)

#### 環境と経済成長 E(17503)

座長:慎公珠(九州大学)

##### 1 環境投資と企業価値

○枝村一磨(科学技術・学術政策研究所)・宮川 努(学習院大学)・内山勝久(日本政策投資銀行)

討論者:森田 稔(早稲田大学)

##### 2 水資源の希少性と経済成長—水充足度データを用いた実証分析

○籠橋一輝(南山大学)・鶴見哲也(南山大学)・花崎直太(国立環境研究所)・馬奈木俊介(九州大学)

討論者:佐藤正弘(内閣府)

#### 企画 フューチャーアース:問題解決のためのステークホルダー参加型協働研究(トランスディシプリナリティ)の国際プラットフォームと日本の役割 F(17507)

座長:石井敦(東北大学) 討論者:江守正多(国立環境研究所)

##### 1 Future Earth—その科学と社会における意義について

○安成哲三(総合地球環境学研究所)

##### 2 フューチャーアースの展開とグローバル事務局の役割

○春日文子(フューチャーアース・グローバル事務局、国立環境研究所、東京大学)

##### 3 フューチャーアースとSDG Knowledge Action Network

○蟹江憲史(慶應義塾大学)

##### 4 Co-design の試み:気候工学(ジオエンジニアリング)の例をとって

○杉山昌広(東京大学)・朝山慎一郎(国立環境研究所)・小杉隆信(立命館大学)・石井敦(東北大学)・江守正多(国立環境研究所)

#### 企画 水資源・環境問題をめぐるインタラクティブ・ガバナンス G(17506)

座長:藤田 香(近畿大学) 討論者:磯野弥生(東京経済大学)、三俣 学(兵庫県立大学)、宮永健太郎(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)

##### 1 水資源・環境問題をめぐるインタラクティブ・ガバナンス—アジアの事例研究へのアプローチ

○大塚健司(アジア経済研究所)

- 2 インタラクティブ・ガバナンスにおける環境再生への政策転換—熊本県荒瀬ダム撤去を事例として

○大野智彦(金沢大学)

- 3 インタラクティブ・ガバナンスによる資源利用と環境保全の調整:フィリピン・ラグナ湖流域 Yaman ng Lawa (Blessings of Lake) Initiative を事例として

○増田忠義(近畿大学)

**企画 環境・エネルギー政策と技術開発—歴史的アプローチの重要性 H(17504)**

座長:伊藤 康(千葉商科大学) 討論者:小堀 聡(名古屋大学)、伊藤 康(千葉商科大学)

- 1 高度成長期日本の硫黄酸化物対策  
○伊藤 康(千葉商科大学)
- 2 サンシャイン計画と太陽光発電産業の生成  
○島本 実(一橋大学)
- 3 技術基準としてのトップランナー方式の考察  
○辻 信一(名古屋大学)

**企画 原子力の事後処理・被害補償をめぐる制度と費用負担 I(17505)**

座長:大島堅一(立命館大学) 討論者:山下英俊(一橋大学)、除本理史(大阪市立大学)、清水奈名子(宇都宮大学)

- 1 原子力発電事業と費用負担 —福島原発事故を中心に—  
○大島堅一(立命館大学)
- 2 被ばく者補償をめぐる分断 —ヒロシマ・ナガサキからフクシマへ—  
○尾崎寛直(東京経済大学)
- 3 太平洋マーシャル諸島における核実験補償制度  
○竹峰誠一郎(明星大学)

# 大会会場へのアクセス

## 青山学院大学 青山キャンパス アクセスマップ

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

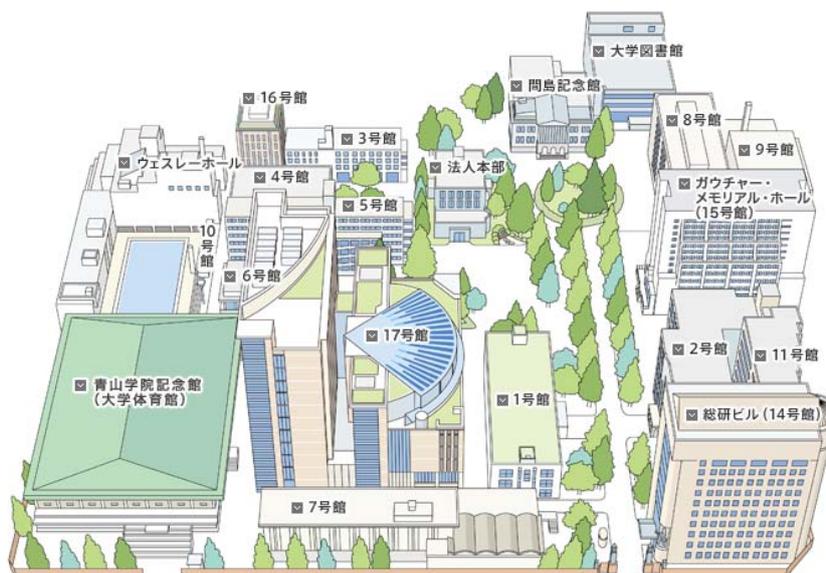
JR 山手線、JR 埼京線、東急線、京王井の頭線、東京メトロ副都心線 他「渋谷駅」より徒歩 10 分

東京メトロ(銀座線・千代田線・半蔵門線)「表参道駅」より徒歩 5 分

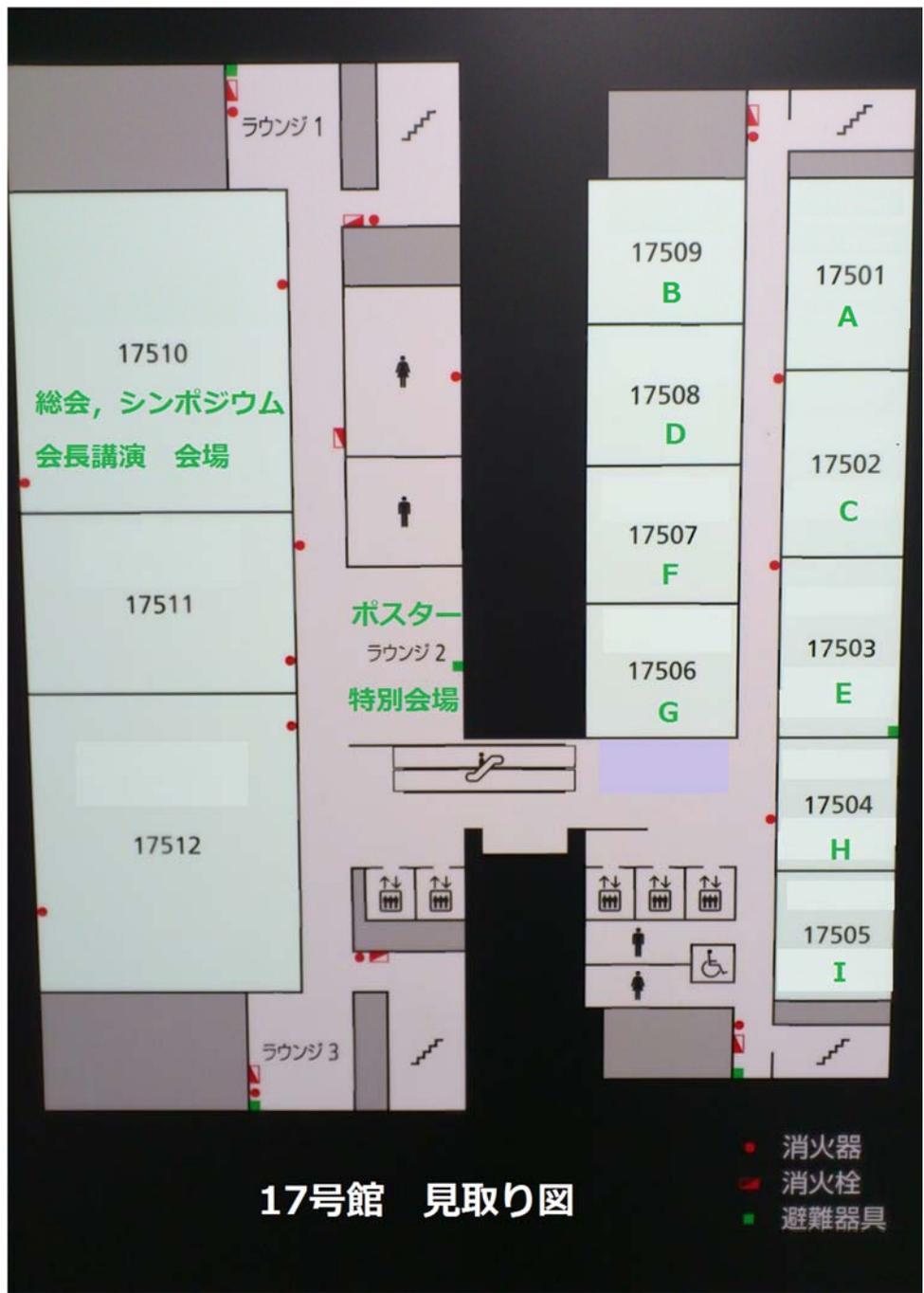


## 青山キャンパスマップ

大会会場 17号館 5階



# セッション会場(17号館5階)



## 環境経済・政策学会 2016 年大会大会プログラム

### 2016 年大会プログラム委員会

委員長:新熊隆嘉(関西大学)

一ノ瀬大輔(立教大学), 金子慎治(広島大学), 小西祥文(上智大学),

鶴見哲也(南山大学), 西谷公孝(神戸大学), 東田啓作(関西学院大学),

野田浩二(東京経済大学), 松川勇(武蔵大学), 三谷羊平(京都大学),

山本雅資(富山大学), 吉田雄一郎(広島大学)

### 2016 年大会実行委員会

委員長:松本茂(青山学院大学)

有村俊秀(早稲田大学), 岩田和之(高崎経済大学), 岡川梓(国立環境研究所),

佐々木創(中央大学), 田中健太(武蔵大学), 浜本光紹(獨協大学),

森田稔(早稲田大学)



